

## ゴルフ市場に関する動向調査結果 2008

—2007年市場はレディス用品群が大きく伸張—

### 【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にてゴルフ市場の調査を行った。

1. 調査期間：2008年4月～8月
2. 調査対象：ゴルフ関連企業約500社
3. 調査方法：当社専門研究員による直接面談、電話・e-mailによるヒアリング、ならびに文献調査併用

### 【調査結果サマリー】

◆ **2007年ゴルフ用品国内出荷市場は258,200百万円、対前年比104.4%と「力強く」成長**  
2007年のゴルフ用品国内出荷市場（メーカー出荷ベース）は対前年比104.4%の258,200百万円と、久し振りの「力強い」成長を果たした。

◆ **2007年レディス市場は対前年比110.7%の50,136百万円と大きく伸張**  
近年注目を浴びている「レディス用品市場（メーカー出荷ベース）」は、2007年50,136百万円。対前年比110.7%と大きく伸張した。

◆ **市場予測：2008年ゴルフ用品国内出荷市場はマイナス成長の見込み**  
2008年のゴルフ用品国内出荷市場（メーカー出荷ベース）は、メイン商材であるドライバー市場の低迷や景気の先行き不透明感等の影響により、対前年比99.8%の257,560百万円と4年ぶりのマイナス成長と予測する。

### ◆ 資料体裁

資料名：「2008年版ゴルフ産業白書」  
発刊日：2008年9月5日  
体裁：A4判（ヨコ） 640頁 ※CD-ROM付  
定価：162,750円（本体価格155,000円 消費税等7,750円）

### ◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地：東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長：水越 孝  
設立：1958年3月 年間レポート発刊：約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先（当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>）

㈱矢野経済研究所 営業本部 広報グループ TEL：03-5371-6912 E-mail: [press@yano.co.jp](mailto:press@yano.co.jp)

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。  
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報グループ迄お問合せ下さい。

## 【 調査結果の概要 】

## 1. 市場概況

2007年ゴルフ用品国内出荷市場は対前年比104.4%の258,200百万円と、3年連続のプラス成長となった。2007年のゴルフ用品国内出荷市場の成長要因として、以下のような点が指摘できる。

- プレースタイルのカジュアル化(多様化)に対応したゴルフ場が多数出現したこと等による、我が国におけるゴルフ環境の変化
- 女性、若年層を中心とした新規参入層の増加による、ゴルフの「すそ野」の広がり
- 2008年からのドライバー高反発規制を控えての買い替え需要活性化に伴うゴルフクラブ(ウッド)市場の伸張
- 2008年の「ドライバー適合品元年」<sup>※</sup>市場(ルール改正に伴う“特需”)を睨んだ各メーカーの「前倒し出荷」構成比上昇
- 引き続きゴルフウェア市場の好調

近年のゴルフ場のカジュアル化・多様化の影響により、我が国におけるゴルフの楽しみ方は多岐にわたってきている。若者を中心に「GOLF コン」などという言葉が浸透、またシミュレーションゴルフマシンの充実により「ゴルフバー」といった業態が出現、ゴルフはより身近なものとなっている。またゴルフのプレー自体もセルフプレーを好んで選択するゴルファーが増加、その影響により携帯型ゴルフナビゲーション機器が人気となっている。このような「ゴルフプレースタイルの変化や多様化」が用品市場にも大きな影響を及ぼしている。

2007年のゴルフ用品市場において特徴的なのは、中心商材であるゴルフクラブ、その中でもウッド市場が対前年比105%台と力強い成長を果たしたことである。「ゼクシオ4(SRIスポーツ)」や「ツアーステージ V-IQ(06年モデル)」といったドライバーの大型商材のマークダウン(特価処分)販売時期と2008年からのドライバー高反発規制を控えたユーザーの買い替え意識の高まりが合致したことや、一部メーカーが2008年の新製品を秋口から「先行発売」したこと、更には多くのメーカーが2008年(1月)発売の新製品を2007年中に「先行出荷」したことなどが主たる要因である。

ゴルフウェア市場は女性や若年層の参入の「恩恵」を最も受けている市場であり、2005年以降高い成長率を維持している。またトップスやボトムスといった中心商材以外にも、ベルトやバイザー、ソックスといった周辺小物も(ゴルファーの広がりを受けて)各社充実しており、それらの商材がゴルフウェア市場全体の成長を底支えているという点も見逃せない動向である。

注:「ドライバー適合品元年」とは、2008年1月1日からのドライバー高反発規制全面施行に伴う特需をさす。

## 2. 注目すべき動向

## -注目の2007年レディース用品市場は対前年比2桁増-

20歳代後半~30歳代を中心とした若年層の参入増により注目を浴びる2007年の「レディース用品市場」は、対前年比110.7%の50,136百万円と大きく伸張した。いわゆる「女子プロ人気」の影響により、2005年頃から女性ゴルファーの増加がゴルフ業界全体で指摘されてはいたが、用品市場においてはさほど大きな影響はなかったのが事実である。しかし2007年に入ってそれらの需要が「顕在化」したと言える。

2008年の国内出荷市場全体はマイナスとなることが見込まれているものの、レディース用品市場に関しては53,103百万円、対前年比105.9%とプラス成長にて推移すると予測する。国内ゴルフ用品出荷市場における構成比も21%程度にまで上昇する見込であり、市場全体が厳しい状況の中、レディース市場は注目すべき市場となっている。

### 3. 将来予測

安定した市場形成に向けて大きな変化を遂げたかに見えるゴルフ用品市場であるが、2008年は大方の予想に反しクラブを中心に非常に厳しい状況が続いている。年明けの1月は「ドライバー適合品元年」を象徴するかのようにクラブを中心に非常に好調な商戦スタートを切ったが、2月以降は状況が一転、特にゴールデンウィーク以降は非常に厳しい状況が続いている。

アメリカのサブプライムローン問題に端を発した景気悪化への懸念や株価の低迷、ガソリンや各種生活必需品の相次ぐ値上げによる消費マインドの急激な冷え込み等が市場に大きな影響を及ぼしている。こうした状況に関連してゴルフ用品市場においても「ドライバー市場の急激な市況冷え込み」に伴う「商品サイクルの更なる短期化」や「特価品(処分販売品)の構成比上昇」などといった問題が顕在化している。

上述したような「レディス用品市場の伸張」といったプラス要因は散見されるものの、市場全体を底上げするまでには至らず、2008年のゴルフ用品国内出荷市場(メーカー出荷ベース)は対前年比99.8%の257,560百万円4年ぶりのマイナス成長と予測する。しかし現在までの市場環境は「99.8%」という数字以上に厳しく、結果として大きく下ぶれする可能性も孕んでいる。

表 1. ゴルフ用品別国内市場規模推移

単位：百万円、%

	2005年		2006年			2007年			2008年(予測)		
		構成比		構成比	前年比		構成比	前年比		構成比	前年比
ゴルフクラブ	106,330	43.6	106,060	42.9	99.7	109,880	42.6	103.6	107,620	41.8	97.9
ウッド	57,300	23.5	56,600	22.9	98.8	59,480	23.0	105.1	57,720	22.4	97.0
アイアン	42,900	17.6	43,400	17.5	101.2	44,300	17.2	102.1	43,400	16.9	98.0
パター	6,130	2.5	6,060	2.4	98.9	6,100	2.4	100.7	6,500	2.5	106.6
ゴルフ用品	45,620	18.7	46,460	18.8	101.8	48,750	18.9	104.9	48,100	18.7	98.7
シューズ	9,400	3.9	9,760	3.9	103.8	10,870	4.2	111.4	10,750	4.2	98.9
キャディバッグ	8,900	3.7	9,070	3.7	101.9	9,780	3.8	107.8	9,610	3.7	98.3
グローブ	5,060	2.1	5,130	2.1	101.4	5,280	2.0	102.9	5,220	2.0	98.9
ラウンドボール	22,260	9.1	22,500	9.1	101.1	22,820	8.8	101.4	22,520	8.7	98.7
ゴルフウェア	84,900	34.8	87,500	35.4	103.1	91,600	35.5	104.7	93,900	36.5	102.5
レンジボール	1,780	0.7	1,950	0.8	109.6	2,080	0.8	106.7	2,060	0.8	99.0
その他	5,100	2.1	5,400	2.2	105.9	5,890	2.3	109.1	5,880	2.3	99.8
合計	243,730	100.0	247,370	100.0	101.5	258,200	100.0	104.4	257,560	100.0	99.8

矢野経済研究所推計

注 1: メーカー出荷金額ベース、(予測)は予測値

注 2: 「その他」にはアクセサリ、練習器具、コンペ用品、施設機器等が含まれる。

表 2. ゴルフ用品性別国内市場規模推移

<国内出荷金額> (百万円)

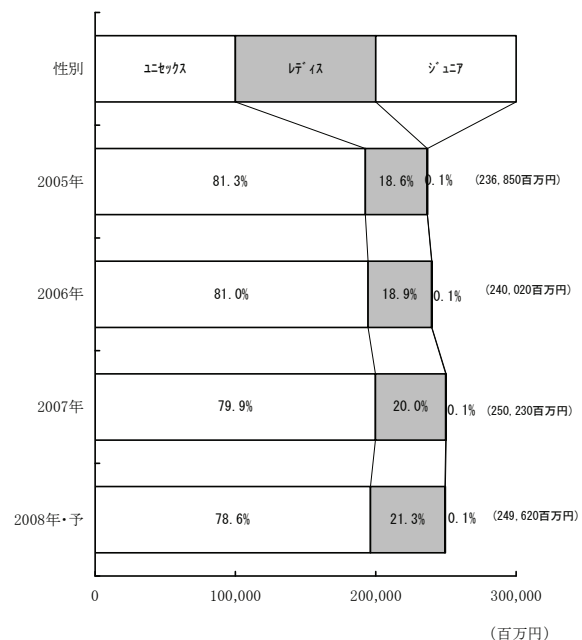
	ユニセックス	レディース	ジュニア	計
2005年	192,593	44,024	233	236,850
2006年	194,499	45,287	234	240,020
2007年	199,811	50,136	283	250,230
2008年・予	196,250	53,103	266	249,620

<構成比>

	ユニセックス	レディース	ジュニア	計
2005年	81.3%	18.6%	0.1%	100.0%
2006年	81.0%	18.9%	0.1%	100.0%
2007年	79.9%	20.0%	0.1%	100.0%
2008年・予	78.6%	21.3%	0.1%	100.0%

<対前年比>

	ユニセックス	レディース	ジュニア	計
2006年	101.0%	102.9%	100.8%	101.3%
2007年	102.7%	110.7%	120.7%	104.3%
2008年・予	98.2%	105.9%	94.2%	99.8%



矢野経済研究所推計

注 1: メーカー出荷金額ベース、(予測)は予測値

注 2: 性別市場動向分析が不可能な「レンジボール」「その他ゴルフ用品」は除く。

注 3: 「ジュニア」の出荷金額は小数点を省略しているため、表示値と対前年比の数値が合致しない。